

和歌山縣報

第百九號

大正二年九月六日

○告示

○和歌山縣告示第二百九十三號

左記自轄車鑑札ハ紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス但シ該鑑札ヲ發見シタル者ハ最寄郡市役所ニ届出ツヘシ

大正二年九月六日

鑑札番號

紛失年月日

住

和歌山縣知事

川村竹治

所

氏名

三〇二一

大正二年八月十五日

有田郡箕島町大字箕島

岩田誠太郎

一六四二

全八月五日

全部廣村大字廣

玄後市郎兵衛

○和歌山縣告示第二百九十四號

左記ノ者ニ對シ小學校本科正教員免許狀ヲ授與セリ

大正二年九月六日

記

和歌山縣知事

川村竹治

和歌山縣平民

師範學校本科第一部卒業生

下向成次郎

明治二十三年十二月生

○和歌山縣告示第二百九十五號

山口縣厚狹郡生田村役場八月二十七日火災ニ罹リ書類焼失ニ付同日以前該役場ニ對シ願伺其他照會等ヲ爲シタルモノニシテ應答未濟ノモノハ本年十月末日迄ニ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘキ旨同縣ヨリ通知アリタリ

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二百九十六號

大正二年九月二日付東牟婁郡上太田村大字長井耕地整理組合地區並設計書變更ノ件耕地整理法第五十四條ニ依リ認可セリ

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二百九十七號

大正二年十月二十一日ヨリ當廳内ニ於テ產婆並看護婦試驗ヲ舉行ス志願者ハ試驗期日十五日前迄ニ受験書所ヲ所轄市役所又ハ町村役場ニ差出スベシ

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二百九十八號

大正二年十一月四日ヨリ當廳内ニ於テ按摩術(マツサージ術)滅菌灸術試驗ヲ舉行ス志願者ハ試驗期日十五日前迄ニ受験願書ヲ所轄警察官署ニ差出スベシ

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二百九十九號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村 竹治

和歌山市小松原通五丁目一番地

京都府平民

第八一六號

堀池 直榮

明治二十六年八月生

海草郡和歌浦町千四百七十八番地

長崎縣平民

第八一七號

大森 カメノ

明治十三年十月生

○和歌山縣告示第三百號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

大正二年九月六日

和歌山縣知事 川村 竹治

和歌山市南一里山町十一番地

和歌山縣平民

第八一五號

松尾 小りう

明治十五年二月生

○和歌山縣告示第三百一號

有田郡湯淺町大字湯淺二千五百十九番地

開業產婆

西岡きよ代

右今般大坂府泉南郡島村百十四番屋敷へ轉往ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

大正二年九月六日

和歌山縣知事

川村竹治

○和歌山縣告示第三百二號

右ノ者ニ對シ日高川ニ於テ左記命令書ヲ遵守シ水力使用スルコトヲ許可セリ
和歌山水力電氣株式會社

大正二年九月六日

和歌山縣知事

川村竹治

命令書

右ノ者ニ對シ發電ノ原動力トシテ和歌山縣日高郡日高川ノ流水使用方法變更ヲ許可スルニ付本命令書ヲ下附ス

第一條 本水力ニ對シテハ湧水時ノ豫備トシテ相當ナル火力機關ノ施設ヲ要スルヲ以テ水力發電所増設許可申請ノ際ハ右設計ヲ具備スルヲ要ス

第二條 取入口、水路及放水路ノ位置左ノ如シ

一、取入口 和歌山縣日高郡船着村大字姉子字鬼阪地内

二、水路 全郡船着村大字姉子ノ内字瀧ノ肩、瀧ノ峰、川ノ上全郡川中村大字上田原ノ内字

谷口、全村大字下田原ノ内字橋戸全部船着村大字高津尾、内字尾曾谷早稻田

三、放水路 全郡船着村大字高津尾字早稻田

第三條 取入口、制水門ニ於ケル引水量ハ每秒貳百五拾立方尺トス

但シ放水路下ニ於ケル本川流水量ハ每秒貳百立方尺以上タルヘシ

本川每秒貳百立方尺以下ニ涸渴シタルトキハ全河水ヲ引用放水シ調整ヲ許サス

第四條 落差ハ百九拾七尺貳寸九分トス

第五條 許可有効期間ハ大正三十年十二月末日迄トス

第六條 許可ヲ受ケタル者ハ下流ニ於テ一定ノ期間中左記ノ水位以上ヲ保タシムヘシ但シ本川ニ

シテ該水位以下ノ流水量ナルトキハ此限ニ在ラス

一、日高川筋矢田村本縣備付ノ量水標

毎年 自六月十五日 間參尺七寸參分

全 自七月十六日 間參尺貳寸參分

即若野用水路内量水標ニテ

毎年 自六月十五日 間四尺四寸

全 自七月十六日 間參尺九寸

第七條 許可ヲ受ケタル者ハ左記箇所ニ於テ知事ノ指定スル地点ニ量水標(矢田村地内ヲ除ク)及

自記水位計ヲ設置スヘシ

一、日高川筋日高郡船着村大字姉子(取入口上)

一、全川筋全郡全村大字高津尾(放水路下)

一、全川筋全郡矢田村(縣設量水標設置場附近)

前項ノ水位計ハ土木工事施行認可申請ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ設置スヘシ

第八條 前條ニ依リ量水標ヲ設置シタルトキハ同箇所ニ於ケル水位ト流量トノ關係並其ノ相互

ノ水位及流量ノ關係ヲ調査スヘシ

前項ノ調査ニ從事セシムル爲ニケ年間之カ監視人ヲ常設シ且其測量主任ヲ置キ水位ト流量ト

關係ヲ精密ニ調査スヘキコト但シ知事ニ於テ引續キ調査ノ必要アリト認メタルトキハ之カ繼續

ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ監視人及測量主任ヲ定メムトスルトキハ其ノ履歷書ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ之

ヲ解カムトスルトキ亦同シ

第九條 知事ハ時々主務吏員ヲシテ前條ノ調査ヲ監査セシメ必要ト認メタルトキハ之ニ關聯スル

他ノ調査ヲモ命スルコトアルヘシ

第十條 前各條ニ依リ調査完了シタルトキハ調査事項ヲ詳細報告スヘシ

第十一條 調査完了後ニ於テハ量水標及自記水位計ハ知事之ヲ保管ス

第十二條 第三條末項及第六條但書ニ依リ一定ノ水位以下ニ減シタルトキ又ハ第十四條ニ依リ放

水シタルトキハ其ノ月日及時間ヲ記シ一ヶ月分ヲ取纏メ翌月五日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第十三條 知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ發電所ヘ通話ノ用ニ供スル爲メ日高郡矢田村地内適當

ノ場所ニ電話機ノ設置ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條 放水路下ニ於ケル本川流量ヲシテ第三條第六條ニ違反セサラシムル爲之カ標識トシ

テ發電所内ニ電鈴裝置水位表示計(浮子ノ移動ニ依リ所定ノ水ニ位達スルトキハ電流回線ヲ作

リ電鈴ヲ鳴ス裝置ヲ有スルモノ）ヲ設備シ水位制限ヨリ下降ヲ示ストキハ直ニ制限ニ達スル迄放水スルノ設備ヲ施スヘシ

第十五條 通水開始申請前ニ當リ第三條及第六條ノ制限ニ對スル放水路下ニ於ケル水位ヲ調査シ知事ノ檢閲ヲ受クヘシ

第十六條 知事ノ指定シタル水位以下ニ在リテハ取入口制水門ハ常ニ開放シ取入口上流ヨリ放水路下流ヘ流送スル物件ニ對シテハ安全ニ水路ヲ通過スル設備ヲ爲スヘシ

制水門開放中ハ本川流送物件ノ水路通過ヲ拒ムコトヲ得ス

第十七條 電氣ニ關スル事項ニ付テハ明治四十四年三月法律第五十五號電氣事業法ノ規程ニ依ルヘシ

但シ全法第三條ノ出願ハ此命令書交付ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ之ヲ爲スヘシ

第十八條 許可ヲ受ケタル者ハ前條但書ニ依リ出願ヲ爲シ其ノ許可ヲ得タル日ヨリ一ケ年内ニ左ノ各號ニ準據シ實測圖（平面圖ハ縮尺二千分ノ一縱斷面圖ハ縮尺二百分ノ一横二千分ノ一）工作物ノ構造圖（縮尺横斷面圖ハ二百分ノ一トス但シ所定ノ縮尺ヨリ大ナルモ妨ナシ）工作物ノ構造圖（縮尺百分ノ一以上）工事方法及工費豫算明細書ヲ調製シ知事ノ認可ヲ申請スヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一、洪水ノ際堰堤設置ニ起因シ上流ニ及ホス水位ノ高ハ算式ヲ以テ計上スヘシ

二、調整池ニ設クル堰堤ノ安全ヲ圖式若ハ算式ヲ以テ論証スヘシ

三、水路並溢水路ノ流量計算書ヲ要ス

四、堰堤ニハ魚道及流筏路ヲ設置シ且流送物件ヲシテ衝擊セシメサル様上流ニ於テ相當ノ設備ヲ要ス

- 五、水路中取入口附近ノ適當ノ箇所ニ排水口ヲ設ケ所定引水量以外ノ水溢流セシムル設備ヲ要ス
- 六、水路ノ水面幅ハ拾貳尺以上タルヲ要ス
- 七、水路ノ曲線明治三十五年六月縣令第百五號河川流木取締規則ニ依ル流筏ヲシテ支障ナク通過セシムル半經タルヲ要ス
- 八、水路(墜道ヲ除ク)ノ一則ニハ步道ヲ設クルコトヲ要ス
- 九、水路中墜道ノ高サハ水面上中心ニ於テ八尺以上トシ墜道内五間毎ニ一燈以上ノ割合ヲ以テ十燭光電灯ヲ点スルコトヲ要ス
- 十、道路、浚流及用惡水路等横斷スル箇所ニハ各支障ナキ設備ヲ要ス
- 十一、水路堀鑿等ニ因テ生スル土石ノ捨場ハ公害ナキ箇所ヲ撰定シ之カ扞止工事ハ極メテ堅牢ナルコトヲ要ス
- 十二、流送物件ヲ安全ニ落下セシムル爲完全ナル落筏路ヲ設置スルコトヲ要ス
- 十三、落筏路ノ材料ハ永久的ノモノニシテ流送物件ニ傷害ヲ及ホサザル適當ノ幅員ヒ及勾配タルヲ要ス
- 十四、調整池内ニハ流送物件ヲシテ散逸セシメサル設備ヲ爲シ運行ニ便ナル步道設置ヲ要ス
- 十五、落筏路ノ取付ハ流送物件ヲシテ隨時之ニ臨マスコトヲ得ヘク其ノ落口ハ充分ナル水枕ヲ作リ傷害ナカラシムル設備ヲ要ス
- 十六、調製池ニ設置スヘキ溢水門ノ構造ハ迅速ニ開閉シ得ルモノニシテ溢水路ノ構造ハ極メテ堅牢ナルヲ要ス

十七、落後路落口ヨリ日高川筋、船着村大字船津ニ至ル間ハ本川ヲ改修シ減水ノ際流送物件流下ニ支障ナキ程度ニ滯筋劃定ヲ要ス

第十九條 許可ヲ受ケル者ハ前條ノ認可ヲ受ケル日ヨリ六ヶ月以内ニ工事ニ着手シ着手ノ日ヨリ貳ク年六ヶ月以内ニ竣工スヘシ但シ天災其他正當ノ事由ニ因リテ本條ノ期間内ニ工事ニ着手又ハ竣工スルコト能ハサルトキハ相當ノ延期ヲ許スコトアルヘシ

第二十條 工事ノ全部竣工シタルトキハ知事ニ届出テ検査ヲ受クヘシ

竣工検査ノ結果工事設計書ニ違反スルモノト認ムルトキハ之カ改築ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條 通水門ヲ開始セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ

第二十二條 堰堤設置ニ起因シ水位ノ嵩起ヨリ生スル被害ニ對シテハ相當ノ除害工事ヲ施行スヘシ

前項ニ關シ損害賠償ヲ要スルトキハ其ノ費用ハ許可ヲ受ケタル者ノ負担トス

第二十三條 許可ヲ受ケタル者ニ工事施行ノ爲道路河渠橋梁其ノ他ノ工作物（公共用ニ供スルト否トヲ問ハス）ノ移轉改築其他ノ工事ヲ必要トスルトキハ之ヲ施行シ其ノ費用ハ許可ヲ受ケル者ニ於テ負担スヘシ

第二十四條 許可ヲ受ケル者ニ於テ道路河渠橋梁其ノ他公共用ニ供スル工作物ニ關シ移轉改築其他ノ工事ヲ施行シタルトキハ竣工ト同時ニ無償ニテ國又ハ公共團體ノ有ニ歸ス但シ其ノ修理保存ハ許可年限内許可ヲ受ケタル者ノ負担トス

第二十五條 知事ノ許可ヲ受ケタルニ非サレハ許可ヲ受ケタル者ニ於テ引水ヲ停止シ又ハ水量ヲ減少スルコトヲ得ス天災其ノ他正當ノ事由ニ因リ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ届

出ツヘシ

第二十六條 知事ハ左ノ場合ニ於テハ期限ヲ定メ引水ヲ停止シ若クハ引水量ノ減少ヲ命スルコト

アルヘシ

一、許可ヲ受ケタル河川ニ於ケル用水其ノ他流水ノ利用ニ付公益上支障マリト認メタルトキ

二、水路其ノ他附屬物ノ改築修補ヲ命シタルトキ

三、前各號ノ外知事ニ於テ公益上必要ト認メタルトキ

第二十七條 知事ニ於テ本事業ニ起因シ河川ニ土砂、又ハ轉石ヲ堆積シ若ハ岩盤露出シ流水其ノ

他ニ關シ公益上障害アリト認メタルトキハ之カ浚渫又ハ除害工事ヲ命スルコトアルヘシ若竣工

ノ上知事ニ於テ不完全ナリト認メタルトキハ之カ改築ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ工事ニシテ急施ヲ要スルモノト認メタルトキハ知事ハ自ラ其ノ工事ヲ施行スルコトアル

ヘシ

第二十八條 知事ハ何時ニテモ水路及附屬工作物ヲ監査シ必要ナリト認メタルトキハ期限ヲ付シ

改築修補ヲ命スハコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ危険切迫ナリト認メタルトキハ知事ハ自ラ其ノ築修補ヲ爲スコトアルヘシ

第二十九條 知事ハ公益上必要ト認ムル事項ヲ許可ヲ受ケタル者ニ命スルコトアルヘシ

知事ハ將來定メラル、所ノ法令ニ基キ又ハ公益上ノ必要ニ依リ此命令書ノ條項ヲ變更スルコト

アルヘシ

前項ノ場合又ハ將來定メラル、所ノ法令ノ結果トシテ此ノ命令書ノ條項ニ變更ヲ來スコトアル

モ許可ヲ受ケタル者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十條 左ノ場合ニ於テハ許可ハ當然其ノ効力ヲ失フ

一、第十七條但書ノ出願ヲ爲サ、ルトキ又ハ其ノ許可ヲ得サルトキ若ハ之ヲ取消サレタルトキ

二、第十八條ノ期間内ニ認可申請セサルトキ又ハ其ノ認可得サルトキ

三、第十九條ノ期間内ニ工事ニ着手セス又ハ之ヲ竣工セサルトキ

四、第三十七條第一項ノ保証金ヲ差出サ、ルトキ

五、明治四十四年九月遞信省令第二十五號電氣事業法施行規則第十二條ニ依ル工事施行ノ認可

ヲ得サルトキ又ハ之ヲ取消サレタルトキ

六、營業ノ全部ヲ廢シタルトキ

七、許可年限満期ノトキ

第三十一條 前條ニ掲ケタル場合ノ外許可ヲ受ケタル者ニ於テ此ノ命令書ノ條項又ハ此ノ命令書

ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキハ知事ハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトアルヘシ

許可ヲ受ケタル者カ不可抗力ニ因ラスシテ漫リニ工事ヲ休止シ更ニ起工セサルトキ又前項ニ全

シ

第三十二條 許可ノ消滅シタル場合ニ於テハ知事ハ期限ヲ定メテ既設工作物ヲ除却シ原形ニ復セ

シムルコトアルヘシ

第三十三條 許可ノ消滅シタル場合ニ於テ國又ハ公共團體カ既設工作物ノ全部又ハ一部ヲ買收セ

ムトスルトキハ知事ノ定ムル價格ヲ以テ之ヲ賣渡スヘシ

前項物件ノ範圍ニ付争アルトキハ知事之ヲ定ム

第三十四條 許可ヲ受ケタル者ハ知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ許可ニ因リ生スル權利義務ヲ他

人ニ移スコトヲ得ス

第三十五條 許可ヲ受ケタル者ニ於テ此ノ命令書及此ノ命令書ニ基キテ爲シタル處分ニ依リ履行スヘキ義務ヲ履行セザルトキハ知事ハ自ラ代テ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトアルヘシ

第三十六條 此ノ命令書ニ基キテ爲シタル處分ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ於テ履行スヘキ義務ノ爲ニ生スル費用並第二十七條第二項第二十八條第二項第三十五條ノ費用ハ總テ許可ヲ受ケタル者ハ負擔トス本命令書ニ基キテ爲シタル處分ニ因リ許可ヲ受ケタル者ニ於テ損害ヲ受クルコトアルモ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第三十七條 許可ヲ受ケタル者ハ保証金トシテ工費豫算額ノ五十分ノ一以上ニ當ル金額又ハ之ニ相當スル公債證書(記名公債證書ナレハ譲渡證書ヲ添付スヘキコト)ヲ指定ノ期限内ニ知事ニ差出スヘシ前項保証金差出後公債證書ノ價格下落シタルトキハ知事ハ前項ノ割合ニ依リ保証金を増加セシムルコトアルヘシ

第三十八條 保証金ハ第二十七條第二項第二十八條第二項第三十五條ノ費用ニ充用スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ直ニ第三十七條第一項ノ金額ヲ填補スヘシ

第三十九條 許可ノ消滅シタル場合ニ於テハ第三十二條第三十三條ノ處分ヲ了シタル後知事ハ保証金を還付ス但シ第三十八條ニ依リ充用スヘキ費用アルトキハ其ノ殘額ヲ還付ス

第四十條 許可ノ消滅シタル場合ニ於テハ許可ヲ受ケタル者ハ許可書及此ノ命令書ヲ知事ノ定メタル期限内ニ返納スヘシ

○ 辭 令

○大正二年八月三十一日

休職ヲ命ス

依願解雇

雇ヲ命ス

日給參拾八錢ヲ給ス

内務部會計課勤務ヲ命ス

依願免本官

○大正二年九月一日

任東牟婁郡書記

給九級俸

○大正二年九月二日

願ニ依リ職務ヲ免ス

○町村吏員ノ異動

○大正二年九月一日認可

蠶業取締吏員

雇

濱田泰藏

楠本保次郎

井村義丸

那賀郡技手

信岡敬一郎

東牟婁郡技手

坪野吉之助

會計吏員

竹内包三郎

日高郡三尾村長

小山申一郎

那賀郡田中村長

岩鶴鹿之助

日高郡湯川村長

岩崎總兵衛

○大正二年九月三日認可

全郡全村助役

寺井宗太郎

○農報

○勸業

○種牡牛検査法第二條ニ依リ大正二年度種牡牛定期検査及臨時検査ニ合格シタル種牡牛ハ左記ノ通

證明書 下付年月日	種	類	名	號	毛色	休尺	年	齡	所有者(管理者)住	所氏名
六月十六日	ホルスタイン種	朝日號	黒白斑	四尺六寸二分	明治四十三年八月生	和歌山市宇治家裏二九〇	所有者	朝日善太郎		
	エアシャー種	ガースラフ ヘリアオプ クレイラ號	白褐斑	四尺五寸	明治四十年八月生	同岡山町一		堀幸三郎		
同日	ホルスタイン種	生駒號	白黒斑	四尺六寸四分	明治四十三年四月生	海草郡宮村大字太田		太田憲七		
	同雜種	春日號	黒白斑	四尺六寸一分	五歲	同四箇鄉村		上野千代楠		
	同	手平號	白黒斑	四尺四寸	四歲	同宮前村大字手平		荒井音松		
	エアシャー種	カースゴ ンドラムス イ號	褐白斑	四尺五寸四分	西曆千九百五年五月生	同和佐村大字彌宜		中筋 麒一		
	同	第九リ バミオ ラツク サンド アール オプ ヒル 號	暗褐ニ 白斑	四尺五寸五分	明治四十年十一月生	所有者海草郡	管理者右郡長	九鬼 善一		
	同	同	白ニ黒 斑	四尺七寸五分	明治三十九年五月生	同				
	セルシー種	和歌號	黒斑	四尺四寸三分	五歲	海草郡湊村	所有	水原之助		
	エアシャー種	セネラル ホワイ ト號	褐白斑	四尺	明治四十三年九月生	同川永村大字井邊		平松 守一		

六月五日	ホルスタイン種	野崎號	白黒斑	四尺五寸二分	三歲	同野崎村大字野崎	山名六太夫
同	エアシヤ種	山名號	白黒斑	四尺五分	明治四十四年六月生	同	
同	セルシー種	ダイアローケボキス號	灰褐毛	四尺三寸二分	明治四十二年十一月生	同西脇野村大字西ノ庄	中原 南木
六月十六日	エアシヤ種	第二セネラル長峰號	白褐斑	四尺二寸一分	明治四十二年五月生	同和歌浦町八一三	永井正次郎
同	ホルスタイン種	丹後號	白黒斑	五尺一寸四分	明治四十四年十一月生	同雜賀村	池田富太郎
六月六日	和種	竹野號	黒褐毛	四尺六寸	明治四十四年四月生	所有者那賀郡農會	伊藤 信平
同	エアシヤ種	加山號	白褐斑	四尺二寸	四歲	那賀郡調月村一、二二九	所有者 加山 梅松
六月七日	同雜種	野上號	赤白斑	四尺四寸	四歲	同東野上村大字動木	中尾寛一郎
六月九日	和種	美葉號	黒毛	四尺四寸六分	明治四十三年四月生	所有者那賀郡長谷毛原村農會	垣内定太郎
六月十一日	ブラウンス井ツス退却雜種	葛城號	同	四尺三寸	明治四十二年二月生	伊都郡花園村大字新子	所有者 西窪 兼松
六月十二日	ホルスタイン種	中石號	白黒斑	四尺五分	二歲	同富貴村大字東富貴	中元 虎石
六月十三日	エアシヤ種	カンカフオアープロテツシヨソ號	白ニ黒褐斑	四尺四寸五分	明治四十一年十二月生	同隅田村大字兵庫	水口善一郎
同	ホルスタイン種	山下號	黒白斑	四尺四寸	明治四十二年二月生	同橋本町大字小原田	山下源一郎
六月十四日	ブラウンス井ツス一回雜種	信太號	黒毛	四尺五分	明治四十二年三月生	所有者伊都郡四郷村農會	門阪吉太郎
五月廿九日	エアシヤ種	第二ナイト號	白褐斑	四尺六分	四歲	有田郡南廣村大字名島	伊藤 久吉
同	エアシヤ種	第五ゴールドン號	同	四尺三寸	六歲	所有者有田郡唐村農會	栗原保太郎

管理者右農會長

同	アラウンス井ツ ス退却雜種	將軍號	黒毛	四尺七寸	六	歳	所有者有田郡津木村農會 管理者右農會長 森 兵四郎
五月三十日	和種	吉備號	同	四尺三寸三分	四	歳	所有者有田郡藤並、御貴、田殿、三村組合 管理者右藤並村長 林 隆之助
同	ホルスタイン雜種	橋岩號	黒白班	四尺七寸	三	歳	所有者有田郡島屋城村大字金屋 所有者 橋本熊次郎
五月卅一日	アラウンス井ツ ス退却雜種	卯月號	黒毛	四尺	二	歳	所有者有田郡八幡村農會 管理者右農會長 岡田道之助
六月一日	和種	但馬號	同	四尺	三	歳	所有者有田郡安論村大字板尾 所有者 布袋島之助
五月十八日	ホルスタイン雜種	瑞風號	白黒班	四尺二寸	四	歳	日高郡南郡町大字北道 所有者 山崎宗次郎
五月十九日	和種	鷹尾號	黒毛	四尺八寸五分	六	歳	同高城村大字島之瀬 所有者 田中 登
五月二十日	アラウンス井ツ ス退却雜種	松山號	同	四尺七寸	三	歳	同清川村大字清川 所有者 鈴木幸太郎
五月廿一日	和種	錦龍號	同	四尺五寸五分	五	歳	同上山路村大字宮城 所有者 小川 周喜
五月廿三日	アラウンス井ツ ス退却雜種	い	號	四尺二寸	二	歳	同川中村大字三佐 所有者 小早川九輔
五月廿四日	同	眞妻號	同	四尺二寸五分	二	歳	同眞妻村大字川洞 所有者 稻田 伊助
五月廿六日	和種	切目號	同	四尺二寸五分	五	歳	同切目村大字島田 所有者 村上松太郎
同	アラウンス井ツ ス退却雜種	錦山號	同	四尺五寸	三	歳	同切目川村大字福ノ谷 所有者 久保 一昌
五月廿七日	同	丹生號	同	四尺三寸五分	三	歳	同丹生村大字和佐 所有者 上杉 辰藏
同	同	丸山號	同	四尺八寸	五	歳	同志賀村大字志賀 所有者 中野 寅市
五月廿八日	和種	第二由夏號	同	四尺五寸	七	歳	所有者同由夏村農會 管理者右農會長 坊岡寅之助
四月二十日	同	高山號	同	四尺二寸五分	三	歳	西牟婁郡上芳養村三〇九 所有者 奥田龜太郎
同	エアンシャール種	第一大岩谷號	褐白班	四尺二寸五分	六	歳	同田邊町大字新屋敷町 所有者 楠本 義郎
同	和種	足立號	黒毛	四尺五寸	五	歳	同三柄村大字中三柄 所有者 井上 喜平

四月廿三日	同	石清號	〇	四尺三寸五分	四	歲	同市瀬村二〇〇〇	田上音右衛門	
同	同	一ツ松號	淡黒毛	四尺一寸	四	歲	同貼川村三四四	那須國平	
同	同	山田號	黒毛	四尺七寸	五	歲	同生島村二〇一一	大江榮吉	
同	同	小倉號	同	四尺三寸	三	歲	同貼川村五六九	愛瀬兼六	
同	同	エアンヤ一號	雙環號	白襦袢	四尺八寸	明治四十一年七月生	同岩田村	福田順次郎	
同	同	アラウンス井ツ	ス退却雜種	ハテナシ號	黒毛	四尺四寸	三	歲	同岩田村
同	同	和種	中辻號	同	四尺四寸五分	五	歲	同岩田村大字岡	石垣清代
同	同	同	楠木號	同	四尺五寸	六	歲	同市之瀬村二二〇七	三栖幸助
四月廿三日	同	尾花號	同	四尺二寸	三	歲	同岩田村大字岩田	山本源四郎	
同	同	根菅田號	同	四尺三寸	二	歲	同市ノ瀬村	三栖謙藏	
同	同	市ノ瀬號	同	四尺三寸	二	歲	同市ノ瀬村一七〇七	田上梅松	
同	同	貼川號	同	四尺七寸	五	歲	同貼川村	飯上秀七	
四月廿五日	同	山清號	同	四尺三寸	三	歲	同川添村大字市鹿野	和田才助	
同	同	三舞號	同	四尺五寸五分	明治四十二年五月生	同	同三舞村大字安居同	根木莊太郎	
同	同	日置號	同	四尺四寸五分	六	歲	所有者四牟婁郡日置村農會 管理者右農會長	中谷吉太郎	
同	同	小林號	同	四尺四寸	明治四十三年三月生	同	同西牟婁郡三舞村大字田井	所有者 和田定吉	
同	同	飯野號	同	四尺三寸五分	三	歲	同周參見	瀧口市太郎	
四月廿七日	同	大郡河號	同	四尺三寸	二	歲	同大郡河村大字大附	尾崎小三郎	
四月廿八日	同	ス退却雜種	アラウンス井ツ	同	同	同	同	同	

四月廿九日	和種	里野	號同	四尺二寸	五	歲	同江住村大字里野	谷口音次郎
四月三十日	同	深海	號同	四尺四寸	五	歲	同和深村大字和深	深海三之助
同	同	平見	號同	四尺二寸	五	歲	同田並村大字田並	平見 福松
五月一日	同	五村	號同	四尺三寸	五	歲	同富士橋村大字二色	西岩 市
同	同	江住	號同	四尺四寸	四	歲	同潮神村大字上野	尾崎 文助
五月二日	同	樞野	號同	四尺三寸五分	四	歲	東本基郡大島村大字樞野	長尾 竹松
五月三日	エアシヤ一雜種	依岡	號同	四尺四寸	五	歲	同高池町大字高池	東山 繁松
五月五日	アラウンス井ツ ス退却雜種	西川	號同	四尺三寸	四	歲	同七川村大字西川	仲梅 之助
五月七日	同	太田	號同	四尺五分	三	歲	同上太田村大字南大居	米地 文平
同	エアシヤ一雜種	太地	號 白黒斑	四尺四寸	三	歲	同太地村大字太地	國路 國藏
五月八日	ホルスタイン種	錦	號同	四尺三寸	三	歲	同那智村大字天満	藤野 明治
同	エアシヤ一種	イト	號 褐白斑	四尺八寸	七	歲	同那智村大字天満	山田 新松
五月九日	アラウンス井ツ ス退却雜種	朝來	號 黒毛	四尺二寸	三	歲	同色川村大字大野	土地 淳吉
五月十一日	同	垣下	號同	四尺二寸	四	歲	同三輪崎町大字佐野	垣下由太郎
同	ホルスタイン種	ヘブン	號 黒白斑	四尺八寸	五	歲	同新宮町	山岸松之助
同	エアシヤ一三回 雜種	數島	號 褐白斑	四尺三寸	年 明治四十二 三月生	歲	同新宮町	西留 彦
同	和種	辻	號 黒毛	四尺三寸	三	歲	同三輪崎町大字木ノ川	西盛之助
同	ホルスタイン種	ナ	號 白黒斑	四尺七寸五分	五	歲	同新宮町	松本彌右衛門
五月十二日	アラウンス井ツ ス退却雜種	高田	號 黒毛	四尺	三	歲	同高田村大字高田	栗原專太郎
五月十三日	同	三津ノ	號同	四尺四寸	四	歲	同三津ノ村	西虎 市

同	和種	小口 號 黒毛	四尺四寸	六	歳	同小口村大字西	木村喜代彦
五月十四日	ブラウンス井ツ ス退却雜種	大黒 號 同	四尺二寸	二	歳	同敷屋村大字西敷屋	小畑 三郎
五月十五日	同	正 號 同	四尺一寸	三	歳	同本宮村	坂本 豊作
同	同	三里伏拜號 同	四尺六寸	六	歳	同三里村大字伏拜	松本定四郎
同	同	高山 號 同	四尺六寸	六	歳	同三里村大字伏拜	中村 庄助
同	同	大谷 號 同	四尺二寸五分	四	歳	同四村大字渡瀬	大平辰三郎
七月十三日	ホルスタイン雜種	三笠 號 黒白斑	四尺六寸	三	歳	同古座町大字中渡	瀨 五 郎
七月十日	和種	田中 號 黒毛	四尺一寸	四	歳	同小川村大字山手	田中佐紋治

○衛生

○八月二十九日 香港ヨリ長崎へ入港ノ汽船加那太丸三等機關士八谷忠夫ハ下痢症ニ罹リ當地へ上陸本日虎列刺ニ決定セシ旨長崎縣檢疫委員部ヨリ通知アリタリ

○在香港防疫事務囑託星合甚之助ヨリ本月十一日ヲ以テ先週中(自八月三日)ニ於ケル虎列刺及ベスト患者發生狀況ニ關シ左ノ通り内務省衛生局長ヨリ通知アリタリ

虎列刺本月八日當地ビクトリア市外ショーキワンニ虎列刺患者五名發翌九日ニモ又々三名發生シ向後尙蔓延ノ虞レアル旨外國醫ヨリ聞知セシヲ以テ十日同地ニ出張調査セシニ右ショークワンハ純粹ノ支那人町ニシテ商業ノ外一部ハ漁業ヲ以テ主業ト爲シ居レリ患者ノ四邊ハ非常ニ不潔ニシテ其ノ臭氣堪ヘ難キモノアリ尙遺棄死体一ヲ發見セリ

ベスト本週中ニ於ケル新患者十九名死者十六名ニシテ本年初發以來ノ總數二百八十九名(死亡二百五十二名)ナリ患者ハ本年一月中始メテ發生シ其ノ後殆ント絶ヘ間ナク殊ニ三月以來每週二十

名内外ヲ出スニ至レリ患者ハ殆ント支那人ノミニシテ(唯印度人葡萄牙人各一名本病ニ斃ル)現在十三名ノ患者アリ近年苦力ニテ本病ニ侵サル、ヤ郷里ニ向テ出立スル者多ク或ハ死体ヲ放棄スル等(昨年以來嚴禁セラレ居ルヲ以テ其ノ數ハ著シク減少シタレモ尙時々發生スト云フ)ニ依リ其ノ患者ノ實數ヲ知ルコト能ハサレトモ當地有力ナル開業獨醫ノ言ニ依レバ公報ニ示ス數ニ四ヲ乘シタル數ナラント然ルニ開業英醫ノ言ニ依レバ公報トヲ差ナシト思フニ公報所載ノ患者數ハ最少數ニシテ實際ノ患者數ハ恐ラク獨醫ノ言ノ如ク四位程ナランカ

備考 本週中ニ於テハ他ノ傳染病患者發生セス

○家庭衛生講習會狀況報告(長野縣報告參考)ノ爲メ左ノ文ノ通り内務省衛生局長ヨリ送付アリタリ衛生思想普及ノ方トシテ女子ニ對シ簡易ナル衛生上ノ知識ヲ授クルヲ目的トシ家庭衛生講習會ト稱シ客年一月ヨリ本年六月ニ涉リ已ニ十三ヶ所ニ於テ之ヲ開催シ其ノ効果ノ見ルベキモノアリ依テ從來施行セル衛生講習會ト相俟テ漸次各郡市ニ及スノ見込ニ有之其講習科目等概要左ノ通りニ候條此段報告ス

左記

一 講習科目

- 一 解剖及生理學ノ大意
 - 二 一般看護法
 - 三 特種看護法ノ大意
 - 四 衛生學大意
 - 五 傳染病及消毒法ノ大意
 - 六 救急處置法大意
 - 七 育兒法產婦ノ心得
- 二 講習期間ハ七日間トシ講習終了者ニハ證書ヲ授與ス

三 講師ハ技師又ハ警察醫トス

家庭衛生講習會開會場所及講習人員

開催場所	開催年月	講習人員
小縣郡神川村	明治四十五年一月	七四人
同 知 村	同 二月	一〇四人
同 縣 村	同 三月	七一人
同 城 下 村	同 三月	八三人
同 傍 陽 村	大正二年一月	八三人
同 神 科 村	同 一月	一〇五人
同 武 石 村	同 三月	七五人
南佐久郡田口村	明治四十五年四月	五六人
同 青 澤 村	大正二年四月	一一五人
東真摩郡中山村	同 二年十二月	五九人
下水内郡飯山町	同 二年四月	二〇人
南安雲郡温村	同 六月	六〇人
北佐久郡北御牧村	同 二月	四〇人
計	一三	九四五人

○一昨日香港ヨリ長崎港へ入港シタル汽船加那太丸ヨリ上陸セシ船客長崎市東山手十二番地笹森方朝來ムツ(齡三十一)ハ本月廿四日ヨリ船内ニ於テ數回ノ吐瀉アリ當地上陸後疑似虎列刺トシテ市立傳染病院へ收容中ノ處本日真正虎列刺ト決定候旨長崎縣檢疫委員部ヨリ通知アリタリ

○慈惠救濟

○恩賜衛生會和歌山市內診療所大正二年八月中施療成績表

財團 施療期間自八月一日至八月三十一日

患者數

內科	男四二名 女三八名	計八〇名	外科	男二名 女一名	計三名
眼科	男三名 女七名	計一〇名	產婦科	男 女	計
小兒科	男三二名 女二八名	計六〇名	耳鼻喉科	男 女	計
其他	男 女	計	總計	男七九名 女七四名	計壹百五拾參名

○恩賜濟生會和歌山市內施療患者調查表(大正二年八月中)

病 症 別	男	女	診療 全上		治療交付人員		其他ノ救護狀況
			員數	延數	支那病院	開業醫師	
第一類 傳染性病	—	—	—	二	一	—	救ノ恤 ルモノ
第二類 發育及營養的病	—	—	—	二	一	—	市ノ恤 ルモノ
第三類 皮膚及筋肉病	—	—	—	三	—	—	總義社ノ 救ニヨ ルモノ
第四類 骨及關節病	—	—	—	二	—	—	篤志家ノ 恤ニヨ ルモノ
第五類 血行器病	—	—	—	一	—	—	救ニヨ ルモノ
第六類 神經系統及五管器病	三	—	—	四	—	—	恤ニヨ ルモノ
第七類 呼吸器病	—	—	—	二	—	—	救ニヨ ルモノ
右ノ内 肺結核	—	—	—	六	—	—	恤ニヨ ルモノ
第八類 消化器病	五	二	—	七	—	—	救ニヨ ルモノ
第九類 泌尿及生殖器病	—	—	—	三	—	—	恤ニヨ ルモノ

○恩賜濟生會和歌山市内救療狀況

(第一九一回)

救療月日及場所

大正二年八月三十日道場町海善寺

救療當務者

醫師丸山修己藥劑師棚野慶治郎看護婦野中セイ

患 者 數

舊患者男五女一名新患者男〇女〇名計男五女一名

新患者病症別

(第一九二回)

救療月日及場所

大正二年九月一日道場町海善寺

救療當務者

醫師増井竹治郎藥劑師大竹英利看護婦清瀧ヨネ

患 者 數

舊患者男二女二名新患者男〇女〇名計男二女二名

新患者病症別

フリクテーン女一名貧血十氣管支加答兒女一名

○正 誤

縣報第七號二頁十六行中「下二」誤「一」字ヲ脱ス

大正二年九月四日

和 歌 山 縣

○觀象

自大正二年八月廿八日至大正二年九月三日氣象

(和歌山地方測候所觀測)

種目	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	一日	二日	三日
平均氣壓	前年 七五・六八 本年 七五・四三	前年 七五・七三 本年 七五・七九	前年 七五・六六 本年 七五・六一	前年 七五・四七 本年 七五・四七	前年 七四・七二 本年 七五・六四	前年 七五・八五 本年 七五・八五	前年 七五・六九 本年 七五・六五
平均氣溫	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度	前年 二七・度 本年 二七・度
最高氣溫	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度	前年 三二・度 本年 三二・度
最低氣溫	前年 二〇・度 本年 二〇・度	前年 一九・度 本年 一九・度	前年 二〇・度 本年 二〇・度	前年 二二・度 本年 二二・度	前年 二二・度 本年 二二・度	前年 二二・度 本年 二二・度	前年 二二・度 本年 二二・度
最多風向	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北	前年 北北 本年 北北
平均風力	前年 一・米 本年 一・米	前年 〇・米 本年 〇・米	前年 一・米 本年 一・米	前年 一・米 本年 一・米	前年 二・米 本年 二・米	前年 二・米 本年 二・米	前年 二・米 本年 二・米
天氣	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴	前年 晴 本年 晴
降水量	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本	前年 本 本年 本
記事雜象	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本	前年 除ス 本年 本

大正二年九月五日印刷
 大正二年九月六日發行
 大正二年九月九日發行
 大正二年九月十二日發行
 大正二年九月十五日發行
 大正二年九月十八日發行
 大正二年九月廿一日發行
 大正二年九月廿四日發行
 大正二年九月廿七日發行
 大正二年九月三十日發行

和歌山縣印事官房

印刷
 和歌山市北休爾町六番地
 和歌山市北休爾町六番地
 宗七